

スマートシティ戦略部・令和7年度部局運営方針

Beyond EXPO 2025における大阪の成長・発展を見据え、デジタル技術を活用した住民のQOL向上と大阪の都市競争力の強化に資する新たな戦略を策定し、スーパーシティ構想とデータ駆動型社会の実現に向けての取組やデジタルサービスの早期実装、スマートヘルスシティの実現をめざします。

重点テーマ1：大阪発のデータ駆動型社会※の実現に向けた取組の推進

データ駆動型のスマートシティの実現に向け、スーパーシティのデータ連携基盤としても認定されている大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を運用し、AI交通量予測システムの活用による渋滞緩和、アプリ等との連携による情報発信の充実など、様々な関連施策を推進します。

〔主な取組〕

- 夢洲コンストラクションで活用したAI交通量予測システムによる大阪・関西万博開催時の渋滞予測及び渋滞緩和策の推進
- データ提供・利用を促進し、公民の様々なデータの掛け合わせにより、多様なサービスの創出を推進
- データ連携基盤の横展開をめざす国の方針に沿い、府県を越えたORDENの共同利用を推進するため、持続可能な運営組織体制を検討しつつ、広域周遊の実現に向けた広域観光実証事業を実施
- 規制改革の提案及び万博後においてもスーパーシティの取組を自立的・持続的なものとして活用されていく新たな仕組みを検討

※データ駆動型社会…生活や企業のあらゆる活動でデータを活用する社会

重点テーマ2：デジタル改革の加速による住民サービスの向上

公共サービスのデジタル化を中心に、事業部局や市町村等と連携した具体的なサービス実装を進めます。

〔主な取組〕

- 総合行政ポータルmy door OSAKA（マイド・ア・おおさか）において、図書館システムとの連携や観光・子育て情報など住民に身近なサービス・コンテンツを拡充し、さらなる府内市町村への展開を推進
- 市町村のデジタル格差の解消に向け、システム共同調達やデジタル人材の確保をはじめ、住民への新たなデジタルサービス提供を通じて市町村DXを積極的に支援
- 大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）において、市町村が抱える地域・社会課題解決に向け、ICTを活用したサービスの実証・実装を推進するとともに、効率的な推進体制について検討
- 住民の暮らしをより豊かにする先駆的なデジタルサービスの取組検討（様々な住民サービスのオンライン化の推進など）

重点テーマ3：スマートヘルスシティ実現に向けた万博を契機とする取組の推進

大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実践する「大阪スマートヘルスシティ」の実現をめざし、スマートヘルス分野のデジタル技術の活用や高齢者の生活支援など関連施策を推進します。

〔主な取組〕

- 最先端のデジタル技術が健康づくり等に活かされる治療・予防アプリなど次世代スマートヘルス分野のスタートアップの支援
- 先端セキュリティ技術を活用したPHRプラットフォームの検討
- 高齢者が健康で便利に生活できるように、デジタル技術を活用した公民連携サービスプラットフォームによるスマートシニアライフ事業の推進及び住民サービスの向上を持続的に図る観点から、民間への事業移管に向けた協議・調整を実施